2 章　分野別実態把握

1．実態把握に用いる情報

分野別実態把握では、施設の分類毎に現状を整理し、整理したデータにもとづき、特徴や課題を把握します。具体的には、施設や事業運営にかかる経費といったコストの情報、施設の築年数や利用状況、運営状況などの情報を収集し、これを用いて施設とサービスの実態を総合的に把握しました。

また、掲載しているデータについて、施設の配置状況は平成 28 年 4 月 1 日時点とし、利用状況・コスト状況等については平成 27 年度決算データを用いて比較分析を行っています。（平成 28 年熊本地震による影響については反映していません。）

2．調査対象施設

（1）対象施設の分類

以下の対象施設について、施設毎に概要、利用状況、運営状況、コストの状況等を把握し、分類毎に特徴、課題を把握しました。　※…施設一覧に運営状況を併せて記載

分　類	把握,分析事項				調査対象施設
	利用状況	運営状況	コスト状況	二軸評価	
①市営住宅	○		○		団地
②学校	○		○		小学校、中学校、高等学校、共同調理場、専修学校、教育ｾﾝﾀｰ
③市民文化系施設１：集会施設･公民館	○	○	○	○	公設公民館
④市民文化系施設２：集会施設･地域ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ等	○	※	○	○	地域ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、老人憩いの家　等
⑤市民文化系施設３：集会施設･その他集会施設	○	※	○		共同利用施設、出張所内ホール、多目的集会施設　等
⑥市民文化系施設４：文化施設（会館･ホール）	○	※	○	○	会館、ホール、文化センター　等
⑦社会教育系施設：図書館	○	○	○	○	図書館、図書室
⑧社会教育系施設：博物館等	○	○	○	○	美術館、博物館、記念館、資料館　等
⑨スポーツレクリエーション：スポーツ施設	○	○	○	○	体育館、運動施設、武道館、弓道場、スポーツセンター、グラウンド、プール、運動場、競技場、野球場、テニスコート　等
⑩スポーツレクリエーション：レクリエーション･観光施設	○	○	○		ｷｬﾝﾌﾟ場、少年自然の家、観光交流施設、動植物園、熊本城　等
⑪産業系施設	○	○	○		プラザ、勤労者福祉センター、職業訓練所、物産館、競輪場　等
⑫子育て支援施設：幼稚園･保育園	○	○	○		幼稚園、保育園
⑬子育て支援施設：児童館	○	※	○	○	児童館
⑭子育て支援施設：児童育成クラブ	○		○		児童育成クラブ
⑮子育て支援施設：その他児童施設	○	※	○		子ども文化会館、母子･父子福祉センター
⑯保健･福祉施設：高齢者福祉施設	○	○	○	○	老人福祉ｾﾝﾀｰ、高齢者生きがい作業所、文化会館、敬老園　等
⑰保健･福祉施設：障害者福祉施設	○		○		障害者福祉センター希望荘
⑱保健･福祉施設：児童福祉施設	○		○		こどもセンター
⑲保健･福祉施設：保健施設		○			健康福祉センター、保健福祉センター　等
⑳保健･福祉施設：その他社会福祉施設	○	○	○		在宅福祉センター、健康センター、福祉交流会館　等
㉑行政系施設：庁舎等		○	○	○	市庁舎、市役所、別館、出張所、区役所、分室　等
㉒行政系施設：その他行政系施設	○		○		河川防災センター、ふれあい文化センター、検査所、事務所　等
㉓行政系施設：消防施設	○	※	○		市消防局庁舎、出張所、消防ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ、機械倉庫　等
㉔供給処理施設	○		○		環境工場、クリーンセンター　等
㉕その他の施設	○	※	○		地下駐車場、地下通路、火葬場、自転車駐車場　等

（2）複合施設について

本市の公共施設には、以下のような複合施設があります。本章では、複合施設の各機能を分析するため、施設分類毎に現況データを整理しました。

図表：主な複合施設一覧

施設名	複合施設						
	行政庁舎	公民館	図書館	児童館	その他ホール等	体育館	産業系施設
西区役所	●	●	○	●			
大江出張所	●	●		○			
託麻総合出張所	●	●	○	●			
秋津出張所	●	●	○	●			
東部出張所	●	●	○	●			
花園総合出張所	●	●	○	●			
河内総合出張所芳野分室	●				●		
飽田総合出張所	●	●	○				
天明総合出張所	●	●	○	○	●		
幸田総合出張所	●	●	○	●			
南部出張所	●	●	○	●			
北部総合出張所	●	●	○				
清水総合出張所	●	●	○	●			
龍田出張所	●	●	○	●			
中央公民館		●	○				
五福公民館		●	○	○			
河内公民館		●	○				
アスパル富合		●	●		●		
火の君文化センター	△	●			●		
城南図書館			●	●			
植木文化センター		●	●		●		
はあもにい			○		●		
くまもと森都心プラザ	●		●		●		●
総合体育館					●	●	

●庁舎　△健康センター分室　●図書館　○図書室　●児童館　○児童室

3. 実態把握の共通記載事項

（1）施設概要

施設分類毎に、住所、延床面積、築年数など、施設の基本的な情報について、一覧表で整理しています。施設分野の特性に応じ、把握すべき事項を追加しています。なお、同じ施設内に複数の棟が設置されている併設施設については、そのなかで床面積が最大の棟の建築年度を表示します。

（2）実態把握 ※平成 27 年度決算データを基に作成しています。

1）利用状況・稼働状況

利用状況は、各施設がどの程度利用されたかの情報を示すものです。利用者数、利用件数、利用可能なコマ数に対して何コマ利用されたかの稼働状況等、施設分野の特性に適した図表で示しています。

2）運営状況

運営状況は、施設の運営人員、運営日、運営時間等を記載しています。施設分野の特性に応じ、必要な項目を整理しています。

3）コスト状況

コスト状況は、施設毎、あるいは施設分野毎に大きくは事業運営にかかるコスト、施設にかかるコスト、指定管理委託料（指定管理施設の場合）、減価償却費相当額にわけて整理をしています。事業運営にかかるコストには、人件費（一般職員、嘱託職員を含む）、事業運営費が含まれます。

施設にかかるコストには、工事請負費、燃料光熱水費、委託料、使用料及び賃借料などが含まれます。

収入には、手数料収入、使用料収入、諸収入などが含まれます。

4）評価・分析

上記の情報に基づき、整理した複数のデータを活用し、現況について評価・分析を行っています。たとえば、各施設のトータルコストと各施設の利用者数のデータから、施設別の利用者 1 人あたりのコストを、各施設のトータルコストと延床面積のデータから、延床面積 1 ㎡あたりのコストを求めるなどしてこれらを比較しています。

さらに、コスト、面積、利用者数、築年数等多くのデータを組合せて二軸の指標で散布図にプロットし、特徴や課題の把握に用いています。